

ソリューションTool for ICOM gear

着信を光で知らせる



LSR-1

騒々しい現場などで、無線の着信を知る手段にも使えるかも知れませんが、例えば夜間に自分の向かう先・目標を知る手段に使用できます

使用目的により、ライト(ランプ)あるいは収納方法を選択します

写真のものは、キセノンランプを無線機内蔵バッテリーで駆動するもので、別電源の用意は不要です

状況を音声で知らせる



VRT-1

あらかじめ閾値を設定することで、閾値を超えた計測値について、音声で通知します
従来の接点信号の扱いでは、具体的な数値/変化を知ることが出来ません
また、発信側で状況を音声化しているので受信側に音声化などの細工は不要です
(通常無線運用グループに、送信用の1台を追加するだけで同報が可能になります)

無線機内蔵バッテリーの使用で、他に電源の用意は不要
防水型9Pコネクタ以外に、一般のφ3.5/2.5プラグにも対応、ただし電源出力できることが必要

※写真は、温湿度センサの接続例(温度・露点温度通知用)
各種アナログセンサ・デジタルセンサ・接点信号(複数)への対応など、個別対応が可能

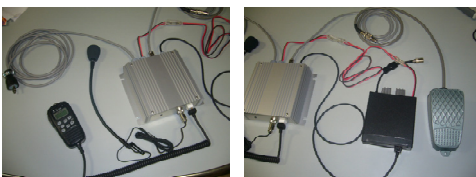
状態を音声で知らせる(マン・ダウン)



VNO

動き検知には、一般的な角度センサではなく、加速度センサを採用
転倒だけではなく、動きが停止したまま、あるいは不安定な動き(ふらつき)等の検知も可能
単純なアラート送信だけではなく、状況をマイクで集音して送信できる機能を内蔵
このことで、周囲の様子(場所の推測)、当事者の様子を把握することができます
相手からの呼びかけに、自分が応答するまで、通知動作を繰り返します

業務無線機用ハンズフリー・オプション



無線機本体が小さすぎ!

無線機を使用する上で、ハンズフリーにしたいというニーズがあります
また、無線機の電源 DC12~24V対応について、場合によっては正常に機能しないケースも散見されます(中途半端に電圧低下が起きると、無線機が誤作動する)

1. ハンズフリーマイク
 2. フットスイッチ(PTTスイッチ)
 3. DC-DCコンバータ(24→13.5V)
- この3点をコンパクトにセットしてみました

RoIPによる、通話エリアの拡大



RCS-3(VE-PG3内蔵)



遠くは有線(光)、近くは無線で...今は、その昔と全く逆転した使い方になりました
途中経路をIP化するだけでなく、ルートを選択する機能を持たすことで、言わば司令卓に1カ所の監視室から、複数施設に配置した人員の動きをモニタすることが出来、必要な指示を出すことが出来ます

言わば、無線機の遠隔使用を可能とします
携帯も使えない地下と地上間・複数の工場建屋間・複数箇所の事業所・大型商業施設など、同報(事故対策・減災目的なら必須の機能)が必要で、なおかつ単独の無線では通話エリアが確保できないケースに最適な解決方法です